

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	06190001
授業科目名(Course name)	イタリア文化入門		
担当者(Instructors)	落合 理恵子		
開設学部学科(Department)	文学部 外国語コミュニケーション学科	科目分類番号(Course classification number)	251
開講クラス(Class)	(文) 2・3	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 金曜 4 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	120

■授業の概要(Course outline)
イタリアは世界一の「世界遺産」保有国である。この講義では、世界遺産と、それに関連する歴史的事実やテーマを通して、イタリアについての理解を深めていく。また建築や美術作品を鑑賞する力、さらにはそれを言葉で説明する力を養う。

■到達目標(Course goals)
イタリアの文化について知り、語ることのできる視点を持つことができる。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 日本を含む世界の多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎
2. 汎用的技能 世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。 ○
4. 統合的な学修経験と創造的思考力 これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。 ○

■授業計画(Lesson plan)
1. はじめに：イタリア半島の地理と主要都市、及び世界遺産の所在地
2. シラクサとアグリジェント（ギリシア植民地時代の南イタリア）
3. ローマ歴史地区（１）：フォロ・ロマーノ、コロッセオ、カラカラ浴場（古代ローマの政治と生活）
4. ローマ歴史地区（２）：サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂、サン・パオロ・フオーリ・レ・ムーラ聖堂（キリスト教の公認）
5. ラヴェンナの初期キリスト教建築物群：テオドリック王廟、サンタ・ポッリナーレ・ヌオーヴォ聖堂、サン・ヴィターレ聖堂（ゲルマン人及びビザンティン帝国の支配）
6. バレルモのアラブ＝ノルマン様式建造物群およびチェファル大聖堂、モンレアーレ大聖堂（シチリアにおけるビザンティン・イスラーム・ノルマンの融合）
7. ヴェネツィアとその潟：サン・マルコ大聖堂、サン・マルコ広場、ドゥカーレ宮殿（共和国としてのヴェネツィア）
8. アッシジ、フランチェスコ聖堂と関連修道施設群：サン・フランチェスコ聖堂、サンタ・キアラ修道院（フランチェスコの生涯と教義）

9.	フィレンツェ歴史地区：サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂、ウフィッツィ美術館、サンタ・マリア・ノヴェッラ教会（ルネサンス発祥の地）
10.	ミラノ歴史地区：スフォルツァ城とサンタ・マリア・デッレ・グラチエ教会（レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯と活動）
11.	ナポリ歴史地区：ヌオーヴォ城、サンタ・キアラ教会、ナポリ王宮（フランス・アンジュー家とスペイン・アラゴン家の支配）
12.	ポンペイとヘリクラネウムの遺跡（18世紀における再発見）
13.	サヴォイア王家の王宮群：マダマ宮殿、カリニャーノ宮殿（サヴォイア家とイタリア統一運動）
14.	2つの葡萄畑群：イタリアにおけワイン生産
15.	全体のまとめ

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
本や映像を使って、紹介した建築物をゆっくり鑑賞すること。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出した授業コメントを、次の授業でフィードバック。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
毎回プリントを配布

■評価方法(Evaluation method)
コメントシート 80%
最終レポート 20%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業の前後に対応